

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 5 月 6 日現在

機関番号：24403

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24520476

研究課題名(和文) 話法のテキスト機能に関する日仏対照研究：内的独白を中心に

研究課題名(英文) Contrastive study on textual functions of narration in French and Japanese:
Internal monolog

研究代表者

高垣 由美 (TAKAGAKI, Yumi)

大阪府立大学・人間社会学部・教授

研究者番号：60253126

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：日本語とフランス語の話法と引用に関する対照研究を行った。主な資料は、日仏の文学作品の翻訳を使用した。特に書かれたテキスト内での、文レベル、テキストレベルの直接話法、引用表現、内的独白の生起条件を観察し、日仏のテキスト構造の基本原理の違いを記述した。上記の分析の過程で行った観察を、教育の分野に応用し、iPhone向けフランス語学習教材を制作、無償で一般公開した。

研究成果の概要(英文)：This contrastive study of Japanese and French focuses on narration and quotation. The main data were taken from translations of literary works in both languages. We observe the conditions of occurrences of direct speech, quoted expressions, and internal monolog at sentence and text level. In addition, we describe some differences between basic principles of French and Japanese textual organization. The observations made during the analysis have contributed to the development of French learning materials in the form of a free iPhone application.

研究分野：フランス語学

キーワード：対照修辞学 テキスト フランス語学 国際研究者交流 フランス

1. 研究開始当初の背景

日本文学の原文とそのフランス語訳を比較すると、内的独白の訳し方が、しばしば直訳ではなく、直接話法や間接話法、さらには客観描写に書き替えられていたり、視点が転換していたりする。また、感嘆詞の頻繁な挿入などが観察される。これらの現象は、単なる文体上の違いに止まらず、それぞれの言語での引用の仕方や話法の表現が異なるからであると思われるが、それに対する適切な説明が見つからなかった。

話法に関しては一般に、日本語とフランス語で顕著な違いがあることは、これまでの研究でも繰り返し指摘されていることである。またその統語的な比較研究は数多く存在する。そして近年日本語学の分野では、藤田(2000)、鎌田(2000)、中園(2006)など、引用論をはじめとして新たな展開がみられる。しかしこれらは、短い文を対象として文法論、語用論の立場から論じられることが多く、テキストの理論の中で位置づけられることが少なかった。

2. 研究の目的

話法と引用に関する日本語とフランス語の対照研究を行う。その最終目的は、テキストレベルの修辞と論理にかかわる言語間比較を行い、対照言語学に基づいた新たなテキスト理論を構築することである。

研究代表者はすでに、様々な現象のテキスト機能に関して研究を行い、特に平成 21 年度からは、話法に現れる遂行性に焦点を当てて日本語とフランス語の違いを探求してきた。その結果、日本語のテキストは、フランス語に比べて視点の明確性と遂行性は高く、結束性と指示の明確性は低いということがわかった。

この成果に基づき、本研究では特に引用、直接話法、内的独白をとりあげて、テキスト構造の違いを記述し、日本語とフランス語の対照に基づいたテキストの一般理論の基礎を築く。

3. 研究の方法

日本文学のフランス語翻訳文献、及び電子コーパスから得られたデータをもとに、幾つかの言語形式に注目し、日本語とフランス語の内的独白・引用・直接話法の違いを手がかりに、テキスト内での話法の機能分析を行い、その生起する条件を記述した。

研究当初は、日本文学のフランス語翻訳とフランス文学作品の日本語翻訳だけを主たる材料にする予定であったが、研究を進めるにつれて、それでは対象としている現象のデータが十分に集まらないことがわかり、インターネット上の電子化されたデータも積極的に活用することにした。

上記の言語学的基础研究の過程ででてくるテキストの観察をもとに、その応用研究として、特定目的のためのフランス語学習教材

開発を行った。

4. 研究成果

1) 日本語の小説のフランス語訳の中で現れる直接話法の表現を研究した。特に「 $\left[\text{ } \right]$ 」(括弧)に注目して、地の文との連続性を観察した。その結果、フランス語で直接話法が引用符の括弧なしで現れるのは、話題の継続性(topic continuity)がある場合だけであることを、明らかにした。平成 24 年 7 月にフランス国のリュミエール・リヨン第 2 大学で行われた第 4 回フランス語学世界大会で発表した。ここでの考察をまとめた論文は当該学会の学会誌に掲載された。

2) 上記の直接話法と関係の深い、否定疑問文とその返答に使われる応答辞 oui, si, non の使い分けを取りあげた。今まであまり考察されてこなかった、書き言葉の中に現れる事例に絞って、そのテキスト内での生起条件を記述した。特に内的独白部分に注目したこの分析によって、テキストの中の文と文の繋がり方の可能なあり方の 1 つを明らかにした。この研究成果は、平成 26 年 7 月にドイツ国のベルリン自由大学で行われた第 4 回フランス語学世界大会で発表した。ここでの考察をまとめた論文は当該学会の学会誌に掲載された。

これらの 2 つ現象の研究は、テキスト構成に関する現象のあくまで一部の側面を表すにすぎないが、対照言語研究の観点から見た、日仏対照のテキストの一般的理論構築の基礎作りとなる。今後このような個別の事例の分析研究を積み重ねることで、いくつもの支配的原則を同定できると予測され、その積み重ねの果てに、最終的に総合的なテキストの理論ができあがると期待される。

3) 研究の過程で、当初の予定を変更して、日仏の文学作品の翻訳だけでなく、電子化されたデータも積極的に活用することにしたことに起因して、参照コーパスの扱いとコーパスの現状についても考察することとなった。折しもフランス語に関して大規模コーパスがいくつも公開される時期と重なり、その現状をまとめることに意義があった。教育におけるコーパス利用について、日本とフランスの現状を調査し、その成果をパリ企画した日仏共同の参照コーパスに関するシンポジウム場で公開した。

4) テキスト研究の理論的成果の応用として、特定目的のためのフランス語学習教材の iPhone アプリケーション『Le français diplomatique 外交フランス語』開発を行った。この教材の中で現れる例文は、外交の場で使うという特定目的のためのフランス語で、独自のテキスト構成に基づく部分があり、本研究の過程で観察されたテキスト構成の

知見を生かすことができた。この教材の制作には、フランス国オルレアン大学の言語科学学科の教員とスタッフと研究協力をする事ができ、フランス語部分の校閲、録音を委託することで、国際情報交換に貢献した。開発した教材は、Apple社のAppStoreを通してインターネット上で全世界に対し無料で提供している。日本語とフランス語の両言語で使用できるので、海外の日本語学習者にも使えるようになっており、成果を広く国際社会にも還元した。

5) フランス語のアカデミック・ライティングと日本におけるその教育の意義に関する考察を行い、フランス的なテキスト構成の学習が日本人大学生にとって異文化理解の観点から有用である点を明らかにした。この成果として、2月に名古屋で開催された国際研究集会で講演を行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 9件)

1) TAKAGAKI, Yumi « *Oui* au lieu de *si* : les usages exceptionnels de oui/si/non dans les textes écrits », in *Actes du CMLF 2014 - 4^{ème} Congrès mondial de linguistique française* publié par EDP Sciences 2014年 pp.2917-2932 (DOI: <http://dx.doi.org/10.1051/shsconf/20140801180>). 査読有

2) TAKAGAKI, Yumi « Quelques difficultés communes aux Coréens et aux Japonais dans la communication interculturelle : analyse de textes du point de vue de la rhétorique contrastive » Société Coréenne d'Enseignement de Langue et Littérature Françaises, Société Japonaise de Didactique du Français, *Actes du premier colloque international conjoint de la SCELLF et de la SJDF. Enjeux et perspectives de l'enseignement du français en Asie*, Editions Daehaksa (Séoul) 2014年 pp.75-86. 査読有

3) TAKAGAKI, Yumi « Le FLE et les applications des études de corpus au Japon » 『言語文化学研究 言語情報編』第9号 大阪府立大学人間社会学部言語文化学科 2014年 pp.41-51 (<http://repository.osakafu-u.ac.jp/>) 査読有

4) TAKAGAKI, Yumi « Rédiger un texte en France et au Japon : quelles différences ? » 『言語文化学研究 言語情報編』第9号 大阪府立大学人間社会学部言語文化学科 2014年 pp.15-39 (<http://repository.osakafu-u.ac.jp/>) 査読有

5) 高垣由美 「スマートフォンで学ぶ特定目

的のためのフランス語-iPhone アプリ「Le français diplomatique 外交フランス語」開発-」 *Revue japonaise de didactique du français* vol. 9, n. 1 日本フランス語教育学会 pp.113-123 2014年 査読有

6) 高垣由美 「iPhoneアプリケーションによる外交フランス語教材-失敗から学ぶアプリ開発-」 *Rencontres* 28 2014年 pp.84-88 (http://www.rpkansai.com/bulletins/pdf/028/084_088_takagaki.pdf) 査読無

7) TAKAGAKI, Yumi « Les différences dans l'organisation des écrits académiques entre le français et le japonais », *NU Ideas* Volume 2, issue 2, Special issue: Proceedings of the First International Symposium on Academic Writing and Critical Thinking 名古屋大学教養教育院 2013年 pp.45-55. (http://nuideas.ilas.nagoya-u.ac.jp/Volume2-2/2-2_Content.html) 査読有

8) 高垣由美 「iPhoneアプリ『外交フランス語』-英語以外の専門分野語学教材開発-」 『コンピュータ&エデュケーション』 Vol. 35 2013年 pp.72-74. 査読有

9) TAKAGAKI, Yumi « Le discours direct entre guillemets sans verbe introducteur dans les textes traduits du japonais », in *Actes du CMLF 2012 - 3^{ème} Congrès mondial de linguistique française*, 2012年 pp.1231-1243 (DOI: <http://dx.doi.org/10.1051/shsconf/20120100154>). 査読有

[学会発表](計 9件)

1) TAKAGAKI, Yumi "Differences of logic and textual organization of French and Japanese: implications for academic writing educations" Second International Symposium on Academic Writing and Critical Thinking 2015年2月21日 名古屋大学(愛知県名古屋市)

2) TAKAGAKI, Yumi « *Oui* au lieu de *si* : les usages exceptionnels de oui/si/non dans les textes écrits », 第4回フランス語学世界大会 2014CMLF CMLF 2014 - 4^{ème} Congrès mondial de linguistique française フランス語学研究所 Institut de Linguistique Française主催, 2014年7月22日 ベルリン自由大学(ベルリン(ドイツ))

3) TAKAGAKI, Yumi « Le FLE et les applications des études de corpus au Japon » LLL-NINJAL Symposium : Analyse des données sonores et corpus de référence - Expériences croisées - («日本におけるフランス語教育とコーパス研究の応用」) ロワール地域圏言語学研究所-国立国語研究所共同シンポジウム: 参照コーパスと音声データ分析-経験

交換 - 2013年11月19日 パリ日本文化会館(パリ(フランス))

4) TAKAGAKI, Yumi « Rédiger un texte en France et au Japon : quelles différences ? » 「文章を書くことはフランスと日本でどう違うか」 Les Mardis du DEFLE (Département d'Études de Français Langue Étrangère 2013年11月13日 ボルドー第3大学(ボルドー(フランス))).

5) TAKAGAKI, Yumi « Quelques difficultés communes aux Coréens et aux Japonais dans les communications interculturelles », COLLOQUE INTERNATIONAL CONJOINT SCELLF-SJDF 2013 (韓国フランス語フランス文学教育学会 日本フランス語教育学会共催 2013年国際会議) 2013年10月18日 ソウル大学(ソウル(大韓民国)).

6) 高垣由美 「英語以外の外国語教育とiPhone用アプリケーション:『外交フランス語』教材開発」 2013PCカンファレンス コンピュータ利用教育学会 2013年8月4日 東京大学駒場キャンパス(東京都目黒区).

7) 高垣由美 「スマートフォンで学ぶ特定目的のためのフランス語—アプリケーション「Le français diplomatique」開発—」 日本フランス語教育学会春期大会 2013年6月1日 国際基督教大学(東京都三鷹市).

8) TAKAGAKI, Yumi « Les différences dans l'organisation des écrits académiques entre le français et le japonais » (「フランス語と日本語のアカデミックな文章の構成上の違い」) First International Symposium on Academic Writing and Critical Thinking 2013年2月16日 名古屋大学.(愛知県名古屋市)

9) TAKAGAKI, Yumi Le discours direct avec guillemets sans verbe introducteur dans les textes traduits du japonais, 第3回フランス語学世界大会 2012 CMLF 2012 - 3^{ème} Congrès mondial de linguistique française フランス語学研究所 Institut de Linguistique Française 主催 2012年7月7日 リュミエール・リヨン第2大学(リヨン(フランス)).

{ その他 }

1) ホームページ

(日本語)

http://www.lc.osakafu-u.ac.jp/staff/takagaki/ym_gyouseki/gyouseki.html

(英語)

http://www.lc.osakafu-u.ac.jp/staff/takagaki/ym_gyouseki/ym_english.html

(フランス語)

http://www.lc.osakafu-u.ac.jp/staff/takagaki/ym_gyouseki/ym_french.html

2) iPhone向け学習アプリケーション 『Le français diplomatique 外交フランス語』 2013年5月から AppStore を通して一般に無償公開.

(<https://itunes.apple.com/us/app/le-francais-diplomatique-wai/id642313027?mt=8>)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高垣 由美 (TAKAGAKI YUMI)

大阪府立大学・人間社会学部・教授

研究者番号: 602531267